

北アルプス・立山連峰を貫き、富山県と長野県を結ぶ観光路「立山黒部アルペンルート」の除雪作業が急ピッチで進んでいる。19日は好天に恵まれ、上空から見下ろすと、白銀の雪原に除雪された道が、くっきりとS字の曲線を描いていた。4月15日に全線開通する。

ルートを運営する立山黒部貫



立山黒部アルペンルート

光（富山市）によると、除雪区間は富山県立山町の山麓から標高2450級の室堂まで。今年は昨年よりも積雪が少ないという。室堂付近では高さ15〜20メートルに及ぶ雪壁の間を歩く人気企画「雪の大谷ウォーク」が、開通日から6月25日まで開催される。

記事にメインの見出しを付けてみましょう。「春」という言葉を入れて、7~8文字程度で考えましょう

なまえ【 】



全線開通に向け除雪作業が進み、くっきりとS字の曲線が現れた「立山黒部アルペンルート」=19日午前11時21分、富山県立山町

★除雪作業が進み、雪原に現れた「春の道」。
新聞は「歳時記」の役目も果たしています。